

第8回北海道新幹線倶知安駅周辺整備推進委員会 開催報告

1. 日時

2022年5月27日（金）15:00～17:00

2. 場所

倶知安町役場 2階会議室



3. 議事

（1）西口広場計画（案）について… 資料1

（倶知安町 西口主幹）

- ・資料1について説明。

（木村委員長）

- ・今の案について質問はあるか。

（柏谷委員）

- ・第2駐車場を整備出来なくなった理由を聞きたい。

（倶知安町 西口主幹）

- ・J R敷地と町有地をまたいで使うことを想定していたが、将来的にJ R側でこの土地を利用する可能性があるため活用できなくなった。

（J R北海道 野澤主幹）

- ・具体的な活用案は現時点でないが、開発の面から魅力ある土地の活用ができないかと考えている。高架下と残用地を一体で活用できれば、開発用地としてのポテンシャルはあるのではないかと考えている。

（柏谷委員）

- ・J Rの意思は固いのか。

（J R北海道 野澤主幹）

- ・J R用地境界外であれば制約はない。J R用地境界と体育館の間は未利用地になる可能性もあるので、活用方法を考えたほうが良いかもしれない。

(佐藤委員)

- ・駐車場の配置案で唐突に立体駐車場案が出てきた。これまでの検討では、立体駐車場は倶知安駅には不要ではないかという議論が進められてきたように思う。今日の提案の意図を聞きたい。

(倶知安町 西口主幹)

- ・新幹線利用者の使い方を考えた時、例えば冬期の1週間、駅に駐車場を停車した場合、雪に埋もれてしまうことが容易に想像つく為、屋根付きの立体駐車場の案を提案した。

(木村委員長)

- ・スキー場を抱えている駅としては、遠隔地から来られて駐車場に預けたままにする利用者も考えられる。他の駅の事例をみると、長期の出張や滞在と時に、立体駐車場から埋まっていく場合もある。

(佐藤委員)

- ・新函館北斗駅の立体駐車場は、周辺から人が集まるということを想定して整備されたが、現時点ではあまり利用されていないように思う。
- ・将来的に考える必要があるという事はわかるが、費用対効果や維持費の面を考えると、いきなり立体駐車場を整備するのはどうかと思った。

(木村委員長)

- ・他の新幹線駅の事例をみると、整備費はおおよそどの程度になりそうか。

(ドーコン 朝倉)

- ・おおよその整備費は、平面100万円/台、立体350万円/台、地下駐車場は2,000万円/台となる。

(斎藤委員)

- ・駐車場台数について200台強となっているが、根拠は何か。最近、身の回りから、冬期の積雪により停車できる駐車台数が夏期と比べると半減し、冬期の観光客を受け入れるには不足するのではないかという意見が出てきている。

(木村委員長)

- ・これまでに委員会の中で台数に関する議論はしていない。

(ドーコン 朝倉)

- ・新駅周辺整備構想(2019年)の策定段階で、駐車場台数を推計している。推計値の基準は2019年当時の統計データを使用している為、将来を見越した想定台数を算出しているわけではない。
- ・他の駅の事例をみると、有料か無料かでも駐車場の需要は異なってくる。道外の事例では、駐車場台数に幅を持たせて、需要が伸びてくるようであれば開業後に駐車場規模の増設を行っている事例もある。

(木村委員長)

- ・2019年ということはコロナ前の統計データということか。また、リゾート利用者が反映されていないということで良いか。

(ドーコン 朝倉)

- ・その通り。

(倶知安町 西口主幹)

- ・現状の台数で足りるのかというご指摘について、例えば、駅周辺にはくとさんパークの駐車場があるため、ここを活用するという考えもある。

(斎藤委員)

- ・長野駅を除き、委員会資料で提示している事例の駅の駐車場台数は400台程度。人口規模は倶知安町の方が少ないと思うが、来訪者数は同程度と考えられるので、もう少し具体的な根拠を示す必要があると思っている。

(木村委員長)

- ・資料にある駐車場台数は、立体駐車場のみの台数か。

(ドーコン 折谷)

- ・立体駐車場のみの台数。駅周辺の平面駐車場の台数は入っていない。

(木村委員長)

- ・キャパシティについては、先行事例を含めてもう少し検討してはどうか。

(倶知安町 西口主幹)

- ・検討してみたいと思う。

(柏谷委員)

- ・個人的には立体駐車場があったほうが良いと思っている。除雪面を考えても必要ではないか。

(宮武委員)

- ・冬場のことを考えると、立体駐車場の方が良いと考えている。まち会社準備室で行ったWSでも、台数よりも屋根がある方が良いという意見が出ていた。

(木村委員長)

- ・雪が多くて観光客が多い駅であれば、新青森駅や奥津軽今別駅が参考になるかもしれない。

(J R 北海道 野澤主幹)

- ・検討の選択肢を増やす提案となるが、新幹線駅舎北側の高架下が空いているので、そこを駐車場として使用すれば除雪の心配はないと思う。なお、会社としてそこを駐車場として使用しても良いと判断したわけではない。賃料は発生することになる。長万部駅でも高架下で駐車場を検討している。

(木村委員長)

- ・高架下を活用している事例でいくと、越後湯沢駅。利用者目線からいくと、屋根付きの方が好まれるだろう。

(柏谷委員)

- ・高架下の活用について、整備構想から駅前広場の絵が変わった時、高架下は車が通れる構造じゃないので利用できなくなったのではなかったのか。

(ドーコン 朝倉)

- ・道路にする場合、スパンを長くとる必要があるのですが、通行することができないが高架下の駐車場利用であれば構造的には可能。

(鉄道・運輸機構 古屋係長)

- ・補足すると、駅部の263mは屋根がついている状況だが、それ以外は線路に積もった雪が高

架下に落ちる構造になっているので、駐車場と使用するのは不可。駅部終点方（札幌方）の高架下を駐車場として活用するならば、50m 程度の範囲となるだろう。

（鉄道・運輸機構 松谷課長補佐）

- ・今後の検討で、駅施設として高架下右側（駅部終点方（札幌方））を活用する可能性もある。その場合、鉄道整備が優先される。

（佐藤委員）

- ・立駐を作るにしても平面にしても、倶知安町として土地を持っていた方が良いと思った。
- ・建築業を行っている身として、倶知安町の屋根に積もる積雪量は約 2m 越え。立体駐車場を整備する場合、除雪しなくても済む構造になるかと思うが、年に 1 回程度は端の除雪が必要になるのではないかと。そうすると人力が必要になる。また、ニセコの山並みの景観を考えても平面駐車場の方がいいと思っている。

（木村委員長）

- ・確かに、立体駐車場になると景観は阻害される可能性はある。そこは注意する必要がある。例えば、駅の意匠や整備位置によって景観上の課題は解消されるかもしれない。

（窪田委員）

- ・倉庫部分の活用を含めてどのように活用するかを真剣に考えないと、駐車場の検討について見えてこないように思う。
- ・確かに、利用者目線で行くと立体駐車場は便利だが、構造物が増えると圧迫感が出てきてしまう。駅周辺はニセコの山並みが見える場所でもあるので、ゆったりとした雰囲気が最大限残るべきではないかと思う。高架下の活用や今ある構造物とセットで考える等、色々工夫して考えられると良いと思った。
- ・P.5 の配置は利用者目線でいくと良いと思ったが、分断要素にもなりえるとも思った。現段階では色々考えられると思った。

（金塚委員）

- ・新幹線駅舎の屋根のあるところと立体駐車場は、駅舎より背が高いのか。

（木村委員長）

- ・駅舎の方がかなり高い。

（金塚委員）

- ・個人的には立体駐車場が良いと思っている。
- ・現地視察に行けなくて申し訳ないが、3 案と 4 案でどういう風にみえるのか。

（木村委員長）

- ・景観をイメージできるようなシミュレーションがあるといいのではないかと。

（倶知安町 西口主幹）

- ・今日はこういったレイアウトが考えられるかを皆さんから意見を頂きたいと思っており、今日の意見を踏まえて、西口駅前広場の検討を進めていきたいと思っている。

（峠ヶ委員）

- ・案を色々考えてもいいならば、地下駐車場も検討に入れて良いのか？

（倶知安町 西口主幹）

- ・整備費用を考えると、地下駐車場は難しいと思っている。

(木村委員長)

- ・長沼町の庁舎の前に駐車場が整備されているのだが、屋根の上が緑化されて公園になっていた。

(柏谷委員)

- ・南側に抜ける道があればいいと思っている。例えば、流雪溝に沿ったところに道路があれば、花園が混んできても車が周回できるように思った。

(木村委員長)

- ・南北を通すイメージか？

(柏谷委員)

- ・全部を通さなくても、体育館側だけでも南北を通す道路があると良いと思った。

(宮武委員)

- ・平面の駐車場をロータリーの前側に、サブアリーナの横に体育館利用者が使えるような立体駐車場を整備するというのはどうか。

(倶知安町 西口主幹)

- ・体育館の屋根から大量の雪が落ちてくるので、そこを踏まえて実現可能か検討したい。

(柏谷委員)

- ・体育館利用者の利用を考慮した駐車場の検討が必要という声は、私の耳にも入ってきている。

(木村委員長)

- ・くとさんパークの利用の在り方も考えていかなければならない。また、在来線プラットフォームや倉庫の活用についても考えていかななくてはならない。
- ・現在の道南バス事務所の代替地をどう考えているか聞いたかったが、道南バスは本日欠席とのこと。次回委員会で、交通事業者の意見も聞けたらと思っている。

(斎藤委員)

- ・思い付きではあるが、本日の視察を踏まえて、旧胆振線の六郷駅に残っている電車を現在の車庫周辺に移せば、人が集まる一つのスポットになり得るように思った。

(木村委員長)

- ・今日の視察でみたものを集結させれば、ニセコに対抗できると個人的には思った。

(峠ヶ委員)

- ・くとさんパークと繋げられるのであれば、子どもも遊べるようなスペースになると良い。レールを残して、小さな鉄道博物館にしたら面白いかと思った。

(倶知安町 西口主幹)

- ・現段階では何とも言えないが、意見を伺うことは可能。検討材料の1つとして、今後考えることは可能。

(金塚委員)

- ・車庫は、例えば朝市といったフード系を中に入れられるのであれば、人が集まるように思った。

(佐藤委員)

- ・観光協会の吉田委員も言っていたが、車庫は活用方法はあるかもしれないと話していた。

例えば、ライダーハウスといった簡易宿泊施設など。

- ・現在、文化福祉施設に機関車、六郷駅に客車とばらばらに展示されているので、まとまると良いように思うが、かなり放置されている状況。ニセコの展示状況を考えると、鉄道はニセコに見に行く流れで良いように思った。

(木村委員長)

- ・最終的には町民が決める内容かと思う。リニューアルする場合、クラウドファンディングで資金を募るやり方もある。駅があつて車庫があることを活かす意味では、今日の意見も考えられなくはない。

(柏谷委員)

- ・新函館北斗駅は開業当初、駅前広場の通路に屋根が整備されていなかったことが印象に残っている。現在の施設を活かせるとしたら、プラットフォームの屋根くらいかと思っていた。

(窪田委員)

- ・もしこのエリアに鉄道に関わるものを集約するのであれば、今ある素材（例：ベンチ）を活用し、痕跡を残せるような形にしてはどうか。
- ・立駐を置く場合、旭ヶ丘公園を含めた検討を行うのであれば、人工的な雰囲気を薄められるように思った。

(木村委員長)

- ・旭ヶ丘公園との連動について議論していないので、次回以降に議論したいと思っている。
- ・くとさんパークと総合体育館に関する意見が出てきたので、そことの連動についても意見があれば事務局に連絡してほしい。

(2) 都市施設の基本構想（案）について… 資料2

(倶知安町 植田係長)

- ・資料2について説明。

(木村委員長)

- ・鉄道施設のギャラリー展示について、意見を伺いたい。

(柏谷委員)

- ・転車台について議論した時に、転車台の模型を置いてもらえたら良いという意見は出ていた。
- ・新函館北斗駅の展示の仕方よりも、函館空港の3Fにある「H a k o D a k e H a l l」のイメージに近い。一体性を持たせた方が良いと思う。

(峠ヶ委員)

- ・先日、大宮の鉄道博物館に行ってきたが、現実とギャラリーの一体感が生まれるといいと思った。
- ・旭ヶ丘公園との連動を考えると、スキー展示もありかと思う。風土館にスキーの歴史が展示されているが室内なのでイメージしにくい。旭ヶ丘公園は倶知安町のスキーの歴史の始まりなので、駅に展示出来る方がいいかとも思った。

(鉄道・運輸機構 松谷課長補佐)

- ・屋上为新幹線駅のホームと同じ高さになるので、都市施設2階からはホームの様子は見え

ない。

(木村委員長)

- ・新幹線の車輪は見えないか。

(峠ヶ委員)

- ・ギャラリーなので、普段見えない部分が見えるとわくわくすると思う。

(木村委員長)

- ・車輪が見える新幹線駅はどこにもないと思う。都市施設 2 階の壁を開けた場合、車輪は見えそうか？

(鉄道・運輸機構 松谷課長補佐)

- ・ホームの下には線路方向に壁が構築されるため、車輪を見ることは難しいと思われる。

(金塚委員)

- ・どんなギャラリーにしても、動かないギャラリーより動くギャラリーの方がみたいと思うはず。
- ・毎月役場の 3 階でやきいもの出張販売しているときに出店者と話しているのが、買いに来るのは役場職員が主。景観は良いが、一般利用を増やすならば 1 階がいいと思った。都市施設についても、1 階に地域の物販できる場所があるといいと思う。

(木村委員長)

- ・最初から駅舎デザインの中に、出張販売できる物販の場所を取り入れていくことは非常に重要だと思う。他の駅は、後付けが多いので、全体の雰囲気と合っていない場合が多い。
- ・ギャラリーについては、場所を反対側にすると新幹線の様子が見えるのではないか。

(佐藤委員)

- ・自由通路は 12m とかなり広いので、自由通路と情報発信機能の部分に、ギャラリーと金塚委員が言った物販機能を入れられると良いのではないか。ギャラリー機能は 2 階じゃない方がいいように思った。

(窪田委員)

- ・ギャラリーについて、レリーフ系は気運を高めるので良いと思っていた。人が行き交う動線上にある方がいいと思っている。コワーキングや多目的スペース等、駅に少し長く滞在する人にとっては、歴史をきちんと調べて読めるような展示があってもいいと思う。

(木村委員長)

- ・JR 白老駅のように何もない自由通路だと「長い」というクレームがこれまでの経験上あがるだろう。白い壁にするのではなく、JR 苗穂駅のような見せ方や年間ギャラリーのような見せ方が必要。
- ・ギャラリーについても常設展示だと飽きてしまうので、工夫が必要。見せることと動きを持たせるということは大事だと思う。
- ・自由通路の幅について、活用方法によって幅が変わってくると思う。

(金塚委員)

- ・JR 上野駅のように、柱の中に展示物を展示している考えもあるかと思う。
- ・倶知安町で行われる「じゃがまつり」の歴代のうちわを展示してはどうか。地元で絵を描いている人の絵の展示も面白いように思う。地域住民の人が展示できるギャラリーにする

ことで動きもできるし、地域の人も見に行きたいと思うと思う。

(木村委員長)

- ・地域の人が集まる仕組みの一つとして、良いアイディアだと思う。

(佐藤委員)

- ・自由通路の最大幅は8m あれば良いように思った。

(斎藤委員)

- ・幅員 8m あれば、スキー客も 3 人くらい交互通行できそうなので十分なように思う。
- ・仮に幅員 8m とした場合、都市施設の部分（情報発信機能や物販機能）を拡充できるイメージで良いか。

(倶知安町 植田係長)

- ・そのイメージも考えられると思う。

(木村委員長)

- ・幅員について、検討時間はまだあるとのことなので、自由通路の新しい使い方を調べて、次回委員会でまた議論したい。

(峠ヶ委員)

- ・自由通路はまっすぐじゃなくてはいけないのか。防犯面を考えると、壁面にギャラリー展示するとそれなりの防犯対策が必要ではないか。

(J R 北海道 野澤主幹)

- ・壁面に展示スペースがある自由通路の先進事例として、飛騨高山にある高山駅東西自由通路が参考になると思う。

(木村委員長)

- ・自由通路については、幅が 12m も必要ないのではないかという意見が出た。
- ・転車台の方向性については、この委員会の中では「残す」意見はないという理解で良いか。

(委員一同)

- ・意見なし。

(3) 北海道新幹線倶知安駅の整備に関する要望書（案）について… 資料 3

(倶知安町 西村主事)

- ・資料 3 について説明。

(木村委員長)

- ・柏谷委員から提案のあった日向市駅の事例について、P.8 の J R 旭川駅の横に追加することで異論ないか。

(委員一同)

- ・異議なし。

4. その他

(倶知安町 西口主幹)

- ・最後に、本日配布した新聞記事は転車台の参考資料として配布させていただいた。

以 上